

# 地域経営これが目玉

## 県部課長と3所長会議

### 諏訪は「ジビエ料理」説明



福田さん(手前)をコーディネーターに  
地域経営について討議

県経営戦略局は十八日、部課長と三所長(地方事務所、保健所、建設事務所)会議「美しい自然環境の中で明日の地域

た。

これまでの個々の報告という形式を改め、より内容のある会議とし、若手職員に意見参加の機会を与える含みもあり、諏訪や各地域代表によるプレゼンテーション、パネルディスカッションに切り替えた。

知事をはじめ、部や局、室の各長と課長、チームリーダー、室長、三所長ら約百六十人が出席し、地域政策プランニング代表の福田圭乃さんの「地域経営を見据えた地域政策形成を考えるプロセス」これからの長野県政に期待されること」と題した基調講演を聴講した。

地域マネジメントに関するプレゼンテーションでは、十人がそれぞれの地域経営の目玉について説明。山口和茂諏訪地方事務所林務課長は野生鳥獣肉を活用した「ジビエ料理」、牛越徹上田那地方事務所長は間もなく開通する「権兵衛峠」、栗林俊春木曽地方事務所長は「緑の交流」などについて触れた。

パネルディスカッションは、福田圭乃さんをコーディネーターに知事と小口利幸塩尻市長も含め、十人のプレゼンターと部局代表の七人のパネリストで、「地域経営の目玉」について討議した。

地域マネジメントに

地域経営テーマに報告、情報交換

県部課長と三所長会議  
県の部課長と地方事務所長、保健所長、建設事務所長が集まる会議が18日、塩尻市の総合教育センターで開かれた。「地域経営の目玉は」とのテ

ーマで、県内10地域の代表らによる現状報告の場などもあり、情報交換が積極的に行われた。

現状報告では下伊那地方事務所が、今年度から設置した「ふるさと振興局」について、地域振興の柱として西部5村の共同でコミュニティバス運行をしたことや共同事務処理を始めたことを報告。松本や大北の地方事務所からは、北アルプスを中心とした観光を目玉にしたいとの発言があり、「地域経営」や「コミュニティ」の理念を広げるには「地元の人材や自然環境

をいかに生かすかが大切との意見が相次いだ。

また、都市や地域の政策立案をしている「地域政策プランナー」の福田志乃さんが講演した。地方低迷の背景について、補助金や地方交付税に頼り「自己投資」するマインドが欠如している点を指摘。県と市町村はすべての情報や事業の分析を一元化して地域政策を進める必要があり、不特定多数の市民との合意形成が不可欠とした。【森有正】

2005. 04. 19. Tue. 長野日報

2005. 04. 19. Tue. 毎日

## 地域経営テーマに議論

新年度初の県部課長・3所長会議

県幹部が一堂に会した新年度初の部課長・3所長会議が18日、塩尻市の県総合教育センターで開かれた。来年度に予定する現地機関の権限強化を目的とした組織再編を見据え、地域経営をテーマにパネルディスカッションなどが行われた。

会議には、田中知事ら約160人が出席。基調講演した地域経営コンサルタントの福田志乃氏は、県の役割は市町村との協働をリードすることなどとし、そのうえで一元的な地域自治に取り組む必要性を訴えた。

ただ、県が事業名などに用いる「コモンズ」について、福田氏は「分からない人がたくさんいて（事業が）使にくい。使ってやってみればコモンズにつながるっていく。あまり強調しない方がいいのでは」と注文を付けた。

各地方事務所からは、観光資源や食材、ブランド形成などを柱とした地域経営の実践例などが報告された。

2005.04.19. Tue. 読売.

## 県、塩尻で三所長会議

県庁外で「地域経営」で討議  
初の開催

県は18日、塩尻市の県総合教育センターで、各地方事務所、保健所、建設事務所の三所長会議を開いた。年度初めに本庁の部課長が県政運営の方針などを現地機関の幹部に伝える会議だが、今回は初めて県庁以外で開き、本庁と現地機関の職員によるパネルディスカッションを取り入れた。

報告では、諏訪地方事務所の野生動物の肉「シビエ」を目玉に地域おこ

しを図る取り組みを、上伊那地方事務所は年度内に開通して伊那谷と木曾谷を結ぶ国道361号権兵衛トンネルを活用した観光振興策を紹介した。

田中知事はあいさつで、こうした形の会合について「さまざまな職員に話してもらえると狙いを述べた。

会議は行政ジャーナリストによる講演も含め五時間余、初めての試みに

対し、本庁のある課長は「私の仕事は地域経営と直接関係ないものの、参



三所長会議でパネルディスカッションをする県職員ら＝塩尻市の県総合教育センター

2005.04.19. Tue.  
信濃毎日.

## 長野県庁での職員研修(部課長 & 三所長)

2005.04.18.Mon



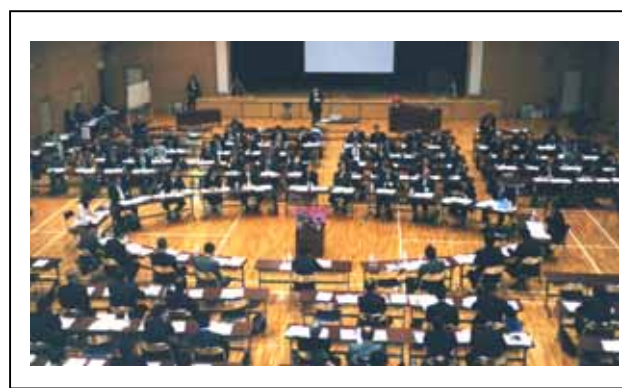
「『地域経営』を見据えた地域政策形成を考えるプロセス」と題した福田の講演。  
160 人もの職員の皆さまが参加されました。



塩尻市の県施設を会場とする講演は、長野県が開発した通信システムにより、長野市にある長野県庁(本庁)にも、同時に放映されました。



地域経営の目玉は〇〇だ!という10事務所の発表後、10事務所と部課代表との活発な意見交換が行われました。研修会には報道陣が沢山。



中央の円陣に、10事務所の発表者と部課代表など、20人が座りました。小口利率・塩尻市長がゲスト(コメンテーター)。

## 長野県諏訪事務所での職員研修(県 & 市町村)

2005.04.19.Tue



翌日は、諏訪地域の県(現地事務所)と市町村を対象に、地域経営に関する合同研修会とディスカッションが行われました。



「県と市町村の『政策の一元化』は可能か?」と題する講演。地図やデータを政策形成にどう駆使するか? 県と市町村と住民の新しい関係とは?